



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2014年3月のロータリーレートは1ドル=102円 地区大会は10/4～10/5



例会優り

第736回例会
ホテル日航5F
3/20(木) 19:00
例会出席率 13/36 36.11%
2月修正出席率 70.83%



点鐘
ロータリーソング『奉仕の理想』
四つのテスト

会長挨拶: 桜も高知に続いて昨日は佐賀市、福岡市、宮崎市と九州の各地で相次いで桜が開花しました。桜前線は24日にも本州で一番早く静岡市に渡り、関東より西では4月の初めに

花見を楽しめる所が多いそうです。金沢の開花は4月5日と予想されています。今、梅の花が見ごろではないでしょうか。兼六園では今日から23日(日)までの4日間、ライトアップされており、入園無料とのことです。時間帯はPM6:30～PM9:00となっております。桜の前に梅の花を楽しませてはいかがでしょうか。

ゲスト紹介 (卓話者) 小松サマースクール実行委員会 代表
光井一恵様 小松サマースクール実行委員会 副実行委員長
北濃 裕子 様

ビジターのご紹介 小松RC 八十山 和代 様

《 食 事 》

幹事・委員会報告 なし

クラブ例会予定 2013-2014年度	
3/20	光井一恵 様 (小松サマースクール実行委員会代表)
3/27	山出保 様 (金沢前市長) 「市長職20年ー思い出あれこれ」
4/3	董又碩 様 (能美RC 米山奨学生)
4/10	金沢北RC合同例会「観桜会」 18:30～ 松魚亭
4/17	今年度委員会事業振り返り 理事役員会
4/24	菊知充 様 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字: 理事役員
(役員) 会長: 野城勲 **EL**外: 宮永満祐美 副会長: 若狭豊 副会長: 魏賢任 幹事: 上杉輝子
 副幹事: 井口千夏 会計: 東海林也令子 **SAA**: 武藤清秀 直前会長 北山吉明
(理事) **クラブ管理運営委員長: 西村邦雄** 副: 二木秀樹 親睦: ○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満
 井口千夏 プログラム: ○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 **SAA**: ○武藤清秀 大路孝之 川きみよ
 ニコニコ: ○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則: ○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智
奉仕プロジェクト委員長: 木場紀子 副: 水野陽子 職業: ○永原源八郎 竹田敬一郎 **社会**: ○谷伊津子
 辰己クミ 大沼俊昭 国際: ○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子
喫煙問題: 村田祐一 **会員組織委員長: 金沂秀** 副: 辰己クミ **会員増強修練:** ○藤間勘菊 石丸幹夫
 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 **ロータリー財団委員長: 藤間勘菊** 副: 永原源八郎 **ロータリー財団・米山寄付:**
 ○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付: 野城勲 **広報委員会委員長: 村田祐一** 副: 江守道子
 広報: ○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 **ロータリー情報:** ○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 **会報ホームページ:** ○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 **常任理事: 石丸幹夫 吉田昭生**
理事会オブザーバー・アドバイザー: パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智
長期姉妹クラブ担当 南光州: 金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央: 炭谷 岩倉 石丸 藤間
 京都北東: 炭谷 杵屋 水野 高崎: 石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00
 事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗
 E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/
 事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00
 休日(土日祝日) 幹事 上杉輝子

小松RC 八十山和代様：小松RCの八十山です。この度は川さんをお願いして「サマースクール2014」の卓話をさせていただき、本当にありがとうございます。サマースクールの精神はロータリーと共通しています。百万石ロータリークラブの皆様、どうか応援して下さい。野城会長：光井一恵様、北濃裕子様、ようこそおいでいただきました。本日はよろしく願いいたします。

北山会員：昨日のチャリティコンサートに沢山の方においで頂き、ありがとうございました。無事に終わり、ホッとしています。



講話の時間

『子どもたちが一步踏み出すきっかけを！』

小松サマースクール実行委員会 代表 光井 一恵 様



プロフィール

小松サマースクール実行委員会 代表
小松市国際交流協会 副会長

講話： この夏、「アメリカ留学」の体験を、小松で！！
小松サマースクール 2014

今年の夏、小松市ではじめて開催する日米大学生による高校生へのためのサマースクールです。の
石川県内、全国から集まってくる高校生は、日米大学生とともに5泊6日間の合宿生活を送ります。



参加する高校生が、世界中から集まる多様なバックグラウンドを有する、大学生、社会人、他校の高校生との交流や学びの場を得て、彼らが自分を再発見すること、また、進路の多様な選択肢を知って、自分自身の将来を考えて行動すること、そのきっかけをつくることを目的としています。

高校生4～5名に対し、セミナーリーダーと呼ばれるアメリカ大学生と、ハウスリーダーと呼ばれる、高校生の英語力や合宿中の生活をサポートする日本人大学生が入って一つのグループを作り、グループごとに生活を共にするので、親密な人間関係を築き、仲間と協同して一つのことを成し遂げる経験を積み上げることができます。

いつもの生活から一步踏み出し、「学校」、「世代」、「国境」の壁を越えた交流を経験するこのサマースクールは、高校生が自分の可能性を広げる機会となり、将来を見つめて新しい自分に挑戦する第一歩となることでしょう。

実施要項

◆日時：5泊6日のサマースクール 7月30日（水）～8月4日（月）

◆宿泊施設：里山自然学校大杉みどりの里（石川県小松市大杉町）

豊かな自然に囲まれた環境で6日間を過ごします。日常とは異なる環境に置かれ、のびのびと学びを満喫します。

◆・高校生40名（石川県内だけでなく、日本全国からも募集し、多様な高校生が小松に集結します。）

・高校生参加費 5万円（5泊6日の宿泊費、食費、活動費、保険などすべてを含む）

・外国人大学生10名 ・日本人大学生10名 ・スタッフ（社会人・大学生）20名

アメリカと日本全国各地から高校生から大人まで、国籍も年齢も考え方もバラバラな人々が一堂に会し寝食を共にします。この多様な人々との交流が、自分自身と向き合い、自らの関心を見付けるキッカケとなります。

◆利用施設：小松市内の施設（サイエンスヒルズこまつ、コマツウェイ総合研修センター、

こまつ芸術劇場うらら、こまつの杜、松雲堂、町家、寺社などを利用予定。)

運営母体

◆主催

・小松サマースクール実行委員会

◆共催

・一般社団法人 IMPACT Foundation Japan



・協賛 (申請中): (株)小松製作所 コマニー(株) 小松精練(株) ジェイバス(株) 八十山雅代・和代美術館

・後援: 在日アメリカ大使館 石川県 小松市 小松市教育委員会 社団法人小松青年会議所
公益財団法人石川県国際交流協会 小松商工会議所 小松市国際交流協会
NPO まちづくり小松 石川県教育委員会 (申請中)

プログラム内容

- ①セミナー: アメリカの大学の講義を模して、リベラルアーツを採り入れた少人数制の英語のセミナー
- ②フォーラム: 社会で活躍するリーダーの講座と対話、がんばる若者によるプレゼンテーションなど
- ③ワークショップ: グループで取り組む、参加型の体験プログラム。小松ならではの伝統文化体験、音楽や体を使って自己表現するもの、ものづくりなど。
- ④フリーインタラクション: フォーラムやワークショップの講師の他、ゲストとして来てくれるさまざまな分野で活躍する大人との自由な対話。高校生が自分の興味によって自由に選択できる。

※リベラル・アーツとは・・・「人を自由にする学問」 多様な人々との関わりから生まれる、自分が住んでいる世界、発想の限界を超えた、学校の中での枠組みにとらわれない学び

SEMINAR

- ・外国人大学生による少人数講義
- ・バイリンガル日本人大学生によるサポート

FORUM

- ・社会のトップリーダーによる講演
- ・高校生、日本人大学生、外国人大学生の3者が共に聞き、共に講演



WORKSHOP

- ・参加者が自ら手を動かすグループワークを通して自己を見直す
- ・創造性を発揮しお互いを刺激する

INTERACTION

- ・様々な職業・専門を持った方々とのカジュアルな対話
- ・対話を通し自己の興味を見つける



点 鐘

パストガバナーからの手紙 171回

歴史教科書の変化その1 「人類の誕生とそのルーツ」 炭谷 亮一

アメリカの大学の研究チームは3月17日に南極に設置した電波望遠鏡による観測で、宇宙誕生直後の急膨張(30年前に提唱した佐藤勝彦博士のインフレーション理論)の際に生じる「さざ波」つまり「原始重力波」と呼ばれる波の痕跡を捉えたと発表した。これにより宇宙誕生の瞬間により迫れるものとして期待されている。そして2~3年前まで宇宙の誕生は137億年前とされていた。ところが私の知る限りでは、ここ1年前から更に1億年古く、138億年が定説となった。つまり宇宙の誕生ですら研究・検証により時期の変更を余儀なくされた。人類の歴史の研究・検証も同様に進歩し、人類の誕生(起源)についても約400万年繰り上がって来ている。私が高校の頃の教科書を思い起こして見ると、多分220万年前のジャワ原人が最も古い原人の化石とされた。そして1924年アフリカで発見された300万年前から250万年前の化石「アウストラロピテクス・アフリカヌス」が最古の「猿人」とされていた。

2000年に21世紀の大発見があった。中央アフリカのチャドで700万年前から600万年前とされる「サヘラントロプス・チャデンシス」が発見されている。その頭骨はほぼ完全で、脳の大きさはほぼチンパンジーと似ていた様である。この化石の発見は更に大きな変化を学説に強いるものだった。発見場所がアフリカ東部ではなく中央部で、最初の頃の人類の発祥が草原ではなく森林だった可能性が高くなった(木の上で生活)。そして220万年前に原人が

出現し、更に 60 万年前に旧人（ネアンデルタール）、そして 20 万年前に新人（ホモ・サピエンス）が誕生したとされている。猿人は地球環境の変化により、食糧の確保の必要性から、直立二足歩行で森林から草原に進出し、新たな食物として肉を食する様になった。これにより脳の容量が大きくなった。原人になると知恵が付くことで更に効率よく肉を獲得する手段として、道具（石器）を用いる様になり、更に脳の容量が増加していったのではないかと考えられている。

旧来、人類学は人骨などの土の中から発見されたものを中心に研究が進められて来た。ところが対象となる化石などが見つからないとそこから先は研究が進まなかった。科学の進歩により 1980 年代後半より、DNA の分析技術が発達して現生人類のミトコンドリア DNA の変異を遡ることで、最も近い共通の女系祖先を特定出来る様になった。アフリカ人のミトコンドリア DNA の多様性が最も大きいことが明らかになった。実は突然変異は一定の確率で起こり、年月と共に集団内に蓄積される。従って変異をたくさん持つ集団（アフリカ人）は長い歴史を持ち、少ない集団は比較的新しい時代に誕生したと考えられる。これらの事実をアラン・ウィルソン博士が発見し、更に大がかりに世界中の人を対象にミトコンドリア DNA の分析を開始した。

ところで遺伝子といってもその種類は多数ある。その中でなぜ先祖に遡る時にミトコンドリア DNA が用いられるか、そこにはいくつかの理由がある。私達は両親 2 人から生まれ、祖父母は 4 人、曾祖父母は 8 人……と代を遡れば、単純計算で 20 代遡れば、先祖の数は 100 万人を超えてしまう。先祖 100 万人の DNA の中には自分に受け継がれていない DNA も存在する。ところが DNA の中に確実に子孫に引き継がれるものがある。それがミトコンドリア DNA である。とはいえ、これは母親から子供に引き継がれるので（女系に）、この母親が息子しか産まなかった場合には、このミトコンドリア DNA は息子から先の代には引き継がれない。つまりミトコンドリア DNA は母から女の子に確実に引き継がれる。従ってミトコンドリア DNA を遡れば女性の共通祖先に行き着くことが出来る。それゆえルーツ探しのツールとしてミトコンドリア DNA が用いられる。

そしてミトコンドリア DNA を辿ると、初期の人類でたった 1 人の女性に行き当たる。この女性を起源として後に世界中の人々が持つ、様々なミトコンドリア DNA のタイプを生み出したのだ。そして初期の人類にはこの 1 人のタイプ以外にミトコンドリア DNA タイプはあったのだが、それらは現在まで子孫を残すことなく歴史の中で消えていった。このただ 1 人の人こそが「ミトコンドリアイブ」と名付けられた女性である。「ミトコンドリアイブ」というセンセーショナルな呼称の為か、誤解を招くことが起こる。と言うのは共通の祖先が生活していた時代、人類は世界でたった一对の男女しかいなかったのではないかとと思われることが常である。実際はそうではなく、当時アフリカ中央部には既に数千人から数万人の集団があったと考えられており、中央アフリカこそが「エデンの園」だったのである。その中には「ミトコンドリアイブ」ではない他の女性はもちろん多数いた。そして歴史の中でその他の女性のミトコンドリア DNA のタイプは消えて行った。子孫をつくれなかったか、あるいは男の子しか生まれなかったといった事情が原因である。

ここで忘れてはならないのが「ミトコンドリアイブ」というのはミトコンドリア DNA を遡って行き着いた結果である。同様に Y 染色体を遡れば Y 染色体の共通の祖先に行き着くし、血液型や髪の毛の遺伝子でも同じことが言える。ミトコンドリア DNA の研究が進み、人類はアフリカで生まれ、そこから世界に旅立っていったことがわかった。少し前まではその地域ごとに原人・旧人が進化して新人（ホモ・サピエンス）が生まれたと考えられていた。例えば現在の中国人は北京原人が進化して中国人になったのではないかとの説もあったが、アフリカから旅立った新人（ホモ・サピエンス）がユーラシア大陸そして東アジアへとたどり着いて現在の中国人へと進化していった。我々の歴史の中で黄色人、黒人、白人種があり、つい最近まで人種の優劣に関する偏見があったが全くナンセンスであり、ほんの数万年前までは皆色の黒いアフリカ人だった。生活環境の違いによって変化・進化していっただけなのである。人類の元は皆同じである。

現在教科書の記述は改訂されつつある。今風に言えば我々は「人類の誕生」についての歴史認識（私は歴史の真実とか歴史的事実の方が適切と思うが）を大きく変える必要がある。

金沢北 RC「祝桜会」合同例会のご案内

日頃はクラブ運営にご協力いただき、ありがとうございます。さて 4/10 の例会ですが、親クラブである金沢北 RC からの誘いもあり、「観桜会」合同例会を下記の通り開催いたします。

ご家族もご同伴で、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

日 時 2014 年 4 月 10 日(木) 18:30 ～

場 所 松魚亭 (TEL 252-2271)

会 費 会員 7,000 円 ※会員会費は 1 万円ですが、例会費 3,000 円をクラブが負担します。

同伴者 8,000 円

〆切り 3 月 28 日 なお、会費は例会当日に集金させていただきます。

東日本災害のチャリティコンサート

北山吉明前会長：東日本災害のチャリティコンサートをいたしました。この三年で 5 回目です。催し物は日本の歌をうたいました。チャリティ収入の一部は東日本に書籍をおくります。またよろしく願いいたします。